

令和6年度 茨城県看護研究学会 募集要項

1. 開催要項

- (1) 開催日 令和6年12月21日(土)
- (2) テーマ 継承と変革のとき～新時代を描く看護～
- (3) 会場 茨城県立医療大学 稲敷郡阿見町阿見 4669-2
- (4) 目的 看護職の実践に根ざした学術研究の振興を通して、看護の質の向上を図り、人々の健康と福祉に貢献することを目的に、看護研究学会を開催する。
- (5) プログラム 特別講演・ミニレクチャー・一般演題発表
- (6) 演題募集期間 令和6年7月1日(月)～28日(日)
- (7) 参加申込期間 令和6年9月1日(日)～12月1日(日)
- (8) 参加費 会員 3,000円(抄録のみ 2,000円)
非会員 6,000円(抄録のみ 4,000円)
学生 1,000円
- (9) 主催 公益社団法人 茨城県看護協会

2. 演題募集要項

演題応募資格	①研究発表者…令和6年度茨城県看護協会会員であること。 ②共同研究者… <u>令和6年度茨城県看護協会会員であること。</u> 但し、看護職員以外で共同研究を行った非会員は、共同研究者として投稿原稿に記名できる。 ③非会員が応募する場合は、入会の手続きが必要である。
演題内容	①発表論文は未発表か未投稿のもとする。(ただし施設内発表は可とする) ②倫理的に配慮された内容であり、その旨が本文に明記されていること。
発表形式	口演発表…1演題7分の発表 示説発表…1演題7分の発表
演題申込・抄録原稿提出方法	①「manaable」より申し込む。 ② 抄録原稿は申込フォーム内にアップロードする。 ※1演題につき2部提出。 ※2部のうち1部は査読で使用するため、 <u>所属・氏名は空白にすること。</u> ※ <u>郵送での申込は、一切受け付けない。</u> ＜お問い合わせ先＞ 茨城県看護協会 学会事務局 担当 TEL: 029 (221) 6900 【募集期間】令和6年7月1日(月)～28日(日)
抄録原稿作成方法	①「抄録原稿作成方法について(p2～5)」に沿って作成すること。 ②書式は当協会ホームページよりダウンロードして原稿を作成する。
原稿の選考及び採否	①抄録ごとに査読審査を行う。 ②査読後、修正を要する場合は、コメントをつけて、発表者宛てに通知。 提出期限内に再提出する。 ③原稿の採否は、茨城県看護協会の学会委員会で選考の上、結果を通知。 なお、提出された原稿は採否にかかわらず返却不可。
発表データの提出	採択された方は、発表データ(PowerPointデータ)を提出期間内に提出。 提出先は発表形式の連絡時に記載。

抄録原稿の著作権について	茨城県看護協会の研究学会抄録集に掲載された著作物（Web公開の発表データ等含む）の複製権、公衆送信権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、譲渡権等は当看護協会に帰属。
個人情報の取り扱いについて	参加申し込み、演題申し込み等により当協会に送付された個人情報は、参加受付、本学会に関する通知、抄録の発送、問い合わせのみに利用し、この利用目的の範囲を超えて、個人情報を取り扱うことはない。

3. 演題応募から発表までの流れ

月	日	項目
7月	1日	演題応募 開始
	28日	演題応募 締切
8月	中旬	抄録査読（査読者による）
9月	中旬	査読結果 送付 （査読後、修正が必要なものについては、コメントも送付）
9月	下旬	抄録修正 締切
10月	上旬	発表方法等通知
11月	21日	発表用パワーポイントデータ 締切 ＜締切後の変更は受けません＞
12月	上旬	抄録集送付
12月	21日	看護研究学会

※スケジュールは前後する場合がございますのでご了承ください。

4. 抄録原稿作成方法について

- 1) 抄録原稿枚数は、図表を含み、白色 A4 用紙 2 枚以内とする。
- 2) 文章作成ソフト「Word」を用いて作成する。
- 3) モノクロで作成する（図表についても白黒で判別できる明瞭なものを作成する）。
- 4) 表題・キーワード・所属施設名・発表者名・共同研究者名は 1 段で記載する。
- 5) 発表者の氏名の前に○印と発表者の氏名にふりがな（ルビ）を付ける。
- 6) 本文は 2 段組で、はじめに・研究目的・研究方法・倫理的配慮・結果・考察・結論・引用文献を A4 用紙 2 枚以内（図表を含む）にまとめる。
- 7) 原稿は下記の条件で書式設定を行い作成する。

◆必ず、当協会ホームページより、様式をダウンロードして原稿を作成して下さい。

ダウンロードした様式は、すべて書式設定済みのため、設定を変更しないで下さい。

- ア. 一行の文字数 2 段組み 23 文字
- イ. ページの行数 42 行
- ウ. 文字の大きさ テーマ…14 ポイント（1 行目）
サブテーマ…12 ポイント（2 行目）
所属（部署名は入れない）
発表者・共同研究者
キーワード…10 ポイント
本文…10 ポイント
- エ. 字体 MS 明朝体、全角で記載し、英文および数字は半角とする。
- オ. 余白 上部・下部・左右ともに…20 mm

- カ. キーワードは3～5個程度入れる。
- キ. 句読点は「。」、「、」で記述する。
- ク. 図表は図表番号とタイトルを付け、図は下に、表は上に図表番号とタイトルを明記する。
- ケ. 単位は明確に記載する。単位以外の略字は用いない。略字を用いる場合は初めに正式名称を書き、その後省略する。例) □□□□□□ (以下□□□とする)

8) 抄録原稿の構成

I はじめに

- ・なぜこのような研究に取り組んだかの動機、意義、問題の背景、問題設定の理由など、このテーマを選択した理由を説明する。
- ・テーマに関係する先行研究の紹介
- ・自分と研究の関係

II 研究目的

- ・研究の目的・仮説を明快にわかりやすく述べる。「どのような立場から、誰を対象に、何を、どこまで、どのような方法で明らかにするのか」

III 研究方法

- 1 調査期間：・・・
- 2 対象：・・・
- 3 ・・・
- 1) ・・・
- (1) ・・・
- ① ・・・

IV 倫理的配慮

V 結果

- ・事実を書くのであり、解釈（考察・感想）は書かない
- 「～の結果・図表・図表の説明・図表の読み・検定結果」

VI 考察

- ・結果を解釈し、そこから知見を引き出す
- ・データから言えること、仮説に対する答え、先行研究との比較検討、問題点など
- ・結果で記述しないことは考察できない

VII 結論（箇条書きとする）

- ・考察から言えること、仮説の答え、この研究でわかったこと
- 1 ・・・
- 2 ・・・

引用文献（必ず記載する）

- 1) ・・・

9) 倫理的配慮について

- (1) 研究対象者へは研究内容の説明をし、対象者の自由意思で諾否が決められるように配慮し、承諾を得られた旨を明記する。
- (2) 倫理委員会若しくはそれに代わる会の承諾を得ていることを明記する。
- (3) 研究対象者のプライバシーへの配慮として、抄録の記述内容で研究対象者が特定できないようにする。
また、固有名詞（当院・当病棟も含む）・写真等を掲載する場合は、研究結果を示すのに必要な場合のみにし、掲載することで研究対象者が特定できないように十分配慮し、承諾を得られた旨を明記する。

抄録原稿見本

↑
20 ミリ
↓

テーマ (中央揃え)

14 ポイント

サブテーマ (中央揃え)

12 ポイント

△△△病院 (※病棟名は記載しない) 10 ポイント

○^{みと}水戸 ^{うめこ}梅子 茨城 太郎 10 ポイント

(※発表者に○をつけ、ルビをふる)

キーワード : ○○○ □□□ △△△ 10 ポイント

I はじめに

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

※本文 10 ポイント

1 行の文字数 2 段組み 23 文字

ページの行数 42 行

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

II 研究目的

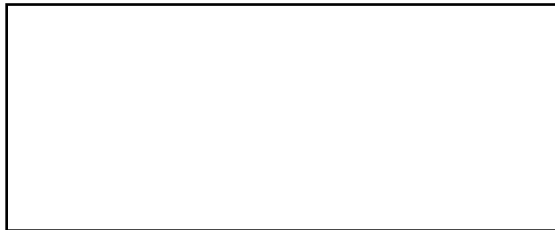
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

← 20 ミリ

V 結果

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

表1 (タイトル)



○○○○病院 (※病棟名は記載しない) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○
○○
○○
○○

20 ミリ →

III 研究方法

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○



図1 (タイトル)

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

IV 倫理的配慮

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

(略)
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

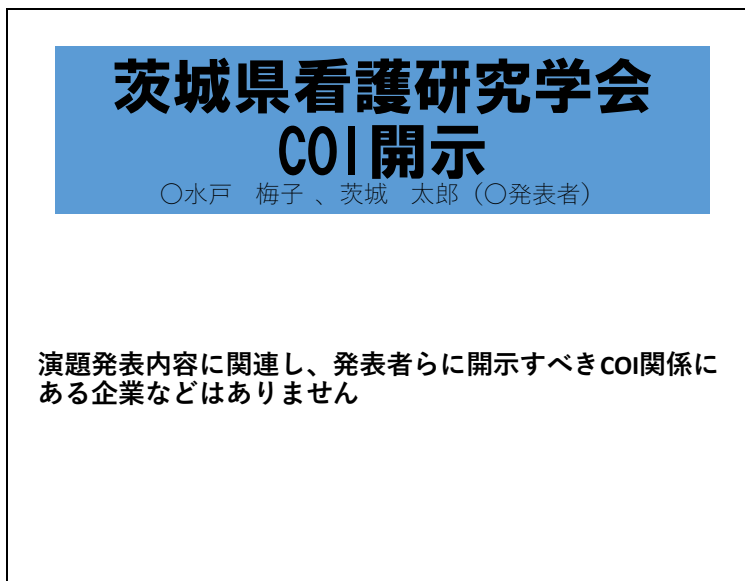
↑
20 ミリ
↓

5. 発表について

・口演発表

- (1) 提出物 : パワーポイントデータ (スライドサイズ 4 : 3) をメールで提出
- (2) 提出日 : 令和 6 年 11 月 21 日 (木)
- (3) 発表時間 : 1 演題 7 分
- (4) 利益相反 (COI) : データの作成に際し、発表者及び共同研究者の全員について、研究に関する企業、団体等との学会開催時から遡って 3 年以内の利益相反状況の申告が必要。
下記スライド例のようにタイトルスライドに続いて、2 枚目に COI 開示スライドを必ず挿入する。
※利益相反の有無にかかわらず、全発表者が開示する

1. 利益相反 (COI) がない場合

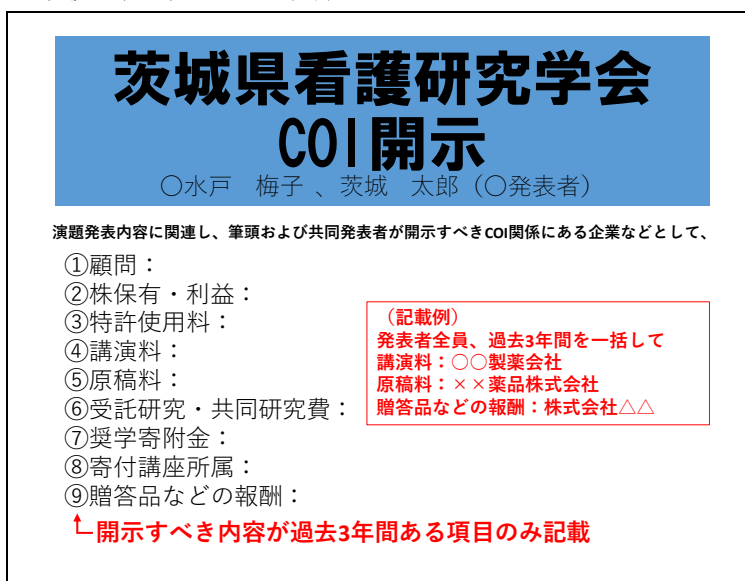


茨城県看護研究学会
COI 開示
○水戸 梅子、茨城 太郎 (○発表者)

演題発表内容に関連し、発表者らに開示すべきCOI関係にある企業などはありません

利益相反がない場合、左図のようなスライドを作成して、発表スライドの 2 枚目に挿入。

2. 利益相反 (COI) がある場合



茨城県看護研究学会
COI 開示
○水戸 梅子、茨城 太郎 (○発表者)

演題発表内容に関連し、筆頭および共同発表者が開示すべきCOI関係にある企業などとして、

- ①顧問:
- ②株保有・利益:
- ③特許使用料:
- ④講演料:
- ⑤原稿料:
- ⑥受託研究・共同研究費:
- ⑦奨学寄附金:
- ⑧寄付講座所属:
- ⑨贈答品などの報酬:

(記載例)
発表者全員、過去3年間を一括して
講演料: ○○製薬会社
原稿料: ××薬品株式会社
贈答品などの報酬: 株式会社△△

↑開示すべき内容が過去3年間ある項目のみ記載

申告すべき利益相反 (過去 3 年間) がある場合、左図のようなスライドを作成して、発表スライドの 2 枚目に挿入。

※①～⑨は、開示すべき内容が過去 3 年間ある項目のみ記載。

・示説発表

- (1) ポスターサイズ：規格は横 90 cm×縦 160 cmを目安とし、この範囲内で図表・写真・説明文などを配置。ポスターデータの提出なし。
- (2) 発表時間：1 演題 7 分
- (3) 利益相反 (COI)：データの作成に際し、発表者及び共同研究者の全員について、研究に関する企業、団体等との学会開催時から遡って 3 年以内の利益相反状況の申告が必要。
ポスターの下部に四角囲みで記載する。
※利益相反の有無にかかわらず、全発表者が開示する

1. 利益相反 (COI) がいない場合

演題発表内容に関連し、発表者らに開示すべき COI 関係にある企業などはありません

2. 利益相反 (COI) がある場合

演題発表内容に関連し、筆頭および共同発表者が開示すべき COI 関係にある企業などとして、発表者全員、過去 3 年間を一括して〇〇株式会社から講演料、株式会社△△から原稿料を受けている。

15			
番号	演題名 所属氏名	※演者が準備	20
演題番号は実行委員会で用意		※演者が準備	160
COI 開示			

【COI 開示】

- ①顧問：
- ②株保有・利益：
- ③特許使用料：
- ④講演料：
- ⑤原稿料：
- ⑥受託研究・共同研究費：
- ⑦奨学寄附金：
- ⑧寄付講座所属：
- ⑨贈答品などの報酬：

※①～⑨は開示すべき内容が過去 3 年間ある項目のみ記載

単位：cm

6. 参加申込方法等

(1) 学会参加申し込みについて

- ①申込先：研修申込サイト「manaable」
- ②期日までの申し込みと参加費の入金を確認後、抄録集を発送。
- ③一度入金された参加費は返金不可。
- ④発表者および共同研究者も、学会参加申し込みが必要となる。

(2) 参加費

会 員 3,000 円（抄録のみ 2,000 円）

非会員 6,000 円（抄録のみ 4,000 円）

学 生 1,000 円

(3) 参加申込期間

令和 6 年 9 月 1 日（日）～令和 6 年 12 月 1 日（日）

研究における倫理的配慮と記述方法

1. 先行文献を調べて活用していますか？

すでに研究結果が出ているテーマを繰り返し研究することは倫理的に問題があると考えられます。そのため、研究課題とその背景にあるものを先行文献から調べた上で研究のオリジナリティや価値、位置づけを明らかにし発表の意義を明確にすることが大切です。文献検討の結果を「はじめに」、「考察」で適切に引用しましょう。「日本看護協会ホームページ>キャリアナース」には文献データベース「最新看護索引 Web」「J-DreamⅢ」があり、『日本看護学会論文集』（第42回より）の全文PDFも公開されています。ぜひ活用してください。

2. 研究フィールドや研究対象者を特定されないよう配慮していますか？

「当院」「当病棟」等の表現では、研究者の所属を見ることから研究フィールドが特定され、固有名詞を使用していることと同じです。そのため、「A病院」のように匿名化した表記とします。研究対象者へのプライバシーの配慮として、抄録の記述内容で研究対象者が特定できないようにします。固有名詞（当院・当病棟も含む）・写真等を掲載する場合は、研究結果を示すのにどうしても必要な場合のみとし、掲載することで研究対象者が特定できないよう十分配慮し、掲載の承諾を得られた旨を明記してください。※倫理審査委員会名の表記に関しては実名表記としてください。詳細は5.「倫理審査委員会での承認を受けたことを記載していますか？」の項目を参照してください。

3. 研究対象者の個人情報を保護していますか？

データの解釈に必要な研究対象者の情報は必要ですが、不必要な個人情報を公表しないように配慮します。例えば、入院および退院の情報が必要な時は、年月日ではなく入院期間を記載するなどの配慮が必要です。また、結果に直接関与しない個人情報は記載しません。個人情報の取扱いは、個人情報保護法、「看護研究における倫理指針」（日本看護協会、2004年）、「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」（個人情報保護委員会・厚生労働省、2017年）、「看護者の倫理綱領」（日本看護協会、2003年）、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省、2017年一部改正）および所属施設の規定に従ってください。

4. 研究対象者への説明と自由意思による同意を得たことを記載していますか？

研究の目的、方法、期待される結果と対象者にとっての研究協力に関する利益、不利益を研究対象者へ伝えた上で、研究の実施と公表について同意を得たことを明確に記載する必要があります。またその際、研究協力への同意が強制されることなく、自由に判断できた事実を記載する必要があります。学生を対象とした研究の場合も、患者を対象としたときと同様の配慮が求められます。たとえば入院患者に対し無記名で看護ケアの質評価の依頼をしても、自由意思で調査への参加を決定したとは判断しにくいいため、退院時にこの調査を依頼する、などの工夫が必要になります。あるいは教員が学生に調査を依頼する場合も授業中に行ったり、担当科目の教員が調査依頼を行ったりすることは、自由意思を損なうことにもつながりかねないため、十分に配慮し、またどのような配慮を行ったかを具体的に明記する必要があります。

研究への同意に適切に判断ができない状態にあると考えられる対象者の場合には、代理人もしくは代理人が存在しない場合には病院の倫理委員会等で承認を得た事実を記載する必要があります。また研究依頼時には適切に判断ができない状態であっても、回復とともに判断できる状態になれば、その時点で研究協力の同意を対象者から再度得る必要があります。

看護師へのインタビューを行う研究において、自分たちが看護ケアを行った患者に関する情報を詳細に述べるような場合には、その患者にも研究の同意を得る必要があります。しかし何らかの理由でその患者から同意が得られない場合には、家族もしくは病院の倫理委員会等で承認されることが必要です。また過去のデータを分析する場合にも、可能なかぎり研究対象者からの同意を得ますが、それが困難な場合には病院の倫理委員会等での同意が必要となります。

5. 倫理審査委員会での承認を受けたことを記載していますか？

研究に際しては、一般的に所属施設の倫理委員会の承認を得て実施することが求められています。特に、人間や動物を対象とした研究、研究施設の内部データを使用する等の倫理的な配慮が重要となる研究を行う場合には、倫理委員会等で承認を受けていることを明記してください。

倫理審査委員会の表記については、承認責任の所在を明確にし、信頼性を高めるために実名で表記してください。例：「日本看護協会病院倫理審査委員会」。

ただし、対象者が少なく、倫理審査委員会名を実名で表記することにより個人が特定される場合は『所属施設の倫理審査委員会の承認を得た』と記載してください。

また、所属施設に正規の倫理審査委員会がなく、倫理審査委員会に相当する機関*で承認を得た場合は、『倫理審査委員会相当の期間から承認を得た』ことを記載のうえ、『対象者から自由意思による承諾を得た』こと、『不利益を回避するための配慮を実施した』ことを明記してください。

研究の実施だけでなく、結果の公表（発表）に関しても、研究対象者および研究対象施設の承諾が必要です。

※倫理審査委員会に相当する機関とは、幹部会議、看護部、委員会等の会議・会合などのことを言います。その場合には、複数の第三者による組織的了解を得ていることを明記してください。

6. 研究への参加によって対象者に負担や不利益がないように配慮したことを記載していますか？

倫理委員会での承認を受けたことのみでなく、対象者の負担や不利益を避けるために配慮したことを記載します。研究協力依頼の内容と方法、予測されるリスクへの対策（中止基準の設定等）、研究データの取扱い、質問紙の回収方法等、研究結果の公表等、研究の全過程においてどのような倫理的配慮を実施したかを簡潔に記載する必要があります。

7. 著作権等の侵害がないように配慮していますか？

文献から本文を引用する場合は、出典（文献）を明記します。図・表は転載許諾を得た上で出典（文献）を明記してください。既存の尺度を使用する場合は、必要に応じて尺度の作成者から許諾を得たことを記載し、出典（文献）を明記してください。尺度を改変して使用する場合は、作成者から許諾を得たことを必ず明記してください。また、原則として薬品や検査器具等は一般名称を用い、（ ）内に商品名と登録商標の場合は®を記載してください。

8. 利益相反の有無について明記していますか？

「利益相反」とは、臨床と企業間での共同研究の場合に、公的利益（得られる成果を社会へ還元する）と私的利益（個人が取得する金銭、地位、利権など）が研究者個人の中に生じる状態のことを指します。看護研究では企業から無償で提供された器材を使ったり、企業や営利団体から研究費の提供を受けたりする場合もあり、利益相反そのものは問題ではありません。しかし、そのような経済的な利益関係などにより、研究に弊害が生じることが問題となります。そのため、公表資料（発表資料、抄録、論文等）に利益相反の有無を記載し自己申告することにより、その研究結果の中立性と公明性を確保して研究の責務を適正に果たしていることを実証する必要があります。

演題応募チェックリスト

施設名

発表者名

※抄録原稿を提出する前に下記を確認し、演題登録用紙、抄録原稿と一緒に提出してください。

チェック項目		チェック欄
【応募資格について】		
1	演題応募者（発表者、看護職の共同研究者）は当該年度の会員ですか	
【抄録原稿について】		
2	抄録の内容は他の学会や他誌に発表あるいは投稿されていないものですか （施設内、茨城県看護協会地区支部での発表は可）	
3	看護職の免許取得後に行われた研究ですか	
4	抄録原稿には、表題（副題）・キーワード・発表者・共同研究者・所属施設名を記載 していますか	
5	はじめに、Ⅰ目的、Ⅱ方法、Ⅲ倫理的配慮、Ⅳ結果、Ⅴ考察、Ⅵ結論、および引用文献の構 成をみたとしていますか	
6	引用文献、図表を含め、規程のA4判2枚以内にまとめていますか	
7	本文、図表等は白黒印刷で判別できる明瞭なものになっていますか	
8	原稿は、選考用、印刷用各1部作成していますか （選考用原稿には、表題（副題）及びキーワードのみ記載、印刷用原稿は、施設名・発表者 名・共同研究者名を記載していますか）	
【倫理的配慮とその記述について】		
9	倫理委員会の倫理審査を受け、承認を得ていることを記載していますか 倫理委員会がない場合にはそれに相当する決定機関（幹部会議、看護部、委員会）等、複数の 第3者による組織的了解を得ていることを明記してありますか	
10	研究対象者へ研究内容の説明をし、研究対象者の自由意思で研究参加の諾否が決定され、承 諾が得られたのかを明記していますか	
11	研究対象者に研究内容や研究結果の公表について承諾を得ていますか	
12	研究対象者へのプライバシーの配慮として、研究対象者が特定できないようにしていますか	
13	固有名詞（当院・当病棟も含む）を使っていませんか	
14	研究への参加によって対象者の負担や不利益を避けるために配慮したことを 記載してありますか	
15	他の文献から図表や本文を引用する場合、著作権に配慮し出典を明記していますか	
16	既存の尺度を使用または改変する場合、作成者から許可を得たうえで出典（文献）を明記し ていますか	
17	引用文献を明示していますか	
18	利益相反の有無については記載されていますか	